催し・講座

私らしいキャリアを見つける 仕事と育児の両立支援セミナー

仕事と子育ての両立に不安を抱えている方や子どもの入学・卒業等のタイミングで転職や再就職を考えている方に向けて、自分に合った仕事の探し方や仕事と子育てを両立しながら働くための準備等について紹介します。

対子育て中で再就職を検討している、今後働きたいと考えている女性 日10月2日㈭午前10時30分～午後0時30分 場町田市文化交流センター 講キャリアコンサルタント・大嶽圭子氏 定20人(申し込み順) 申10月1日までにGrafferスマート申請(オンライン申請)〔右記二次元コード〕で申し込み。

問産業政策課☎724-2129

境川クリーンアップ作戦

町田市と相模原市の間を流れる境川の清掃を両市民が協働で行います。清掃ができる服装でおいでください。

日9月28日㈰午前9時～11時(雨天実施、荒天中止) 場境川(上流・両国橋～下流・鶴金橋)の9会場／詳細は境川クリーンアップ作戦実行委員会事務局(☎785-4350)へお問い合わせください 申境川クリーンアップ作戦HPでエントリーフォームを提出(申し込み無しでの当日参加も可)。

問下水道経営総務課☎724-4287

町田市農業研修事業 さつま芋収穫体験

市では、2年間の農業研修を修了した方に、農業経営のノウハウの習得などを目的としたフォロー研修を行っています。研修生が育てたさつま芋を収穫しませんか。収穫したさつま芋は持ち帰れます。また、新鮮野菜も販売予定です。

対市内在住、在勤、在学の方(小学生以下は保護者同伴) 日10月19日㈰、午前9時～10時、午前10時30分～11時30分(各回とも同一内容)／雨天中止 場町田市農業研修農場第2圃場(小野路町)／参加が決定した方には、後日、詳細地図を送付します 定各10組(申し込み順、1組4人まで) 費1口500円(1組3口まで／1口さつま芋5～6本程度です(当日までの栽培状況により変更になる場合有り) 申9月18日正午～29日にイベントダイヤル(☎724-5656)またはイベシス コード250918Aへ。

問農業振興課☎724-2166

10月、11月講座 さがまちカレッジ

詳細は講座案内チラシ(各市民センター、各市立図書館等で配布)をご覧ください(さがまちコンソーシアムHPでダウンロードも可)。

●私たちの健康に関わる放射線について知ろう

日10月29日㈬午前10時～11時30分 場ユニコムプラザさがみはら(相模原市) 講昭和薬科大学教授・岸本成史氏 定20人(抽選) 費1200円

●18世紀の絵画(記録画)が伝える米中関係およびヨーロッパ諸国の過去と現在とは

対18歳以上の方 日11月8日㈯午後1時30分～4時45分 場ユニコムプラザさがみはら(相模原市) 講多摩大学経営情報学部特任教授・安田震一氏 定24人(抽選) 費2000円

●こども体験講座　ドライアイスの3つの不思議～分かると楽しい化学の知識

対①中学・高校生②小学4～6年生 日11月1日㈯、①午前10時30分～正午②午後2時～3時30分 場北里大学(相模原市) 講北里大学理学部化学科助教・内山洋介氏 定各15人(抽選) 費1300円

◇

申講座案内チラシ裏面の受講申込書に記入し、9月29日までに郵送(必着)またはFAXでさがまちコンソーシアム事務局へ(さがまちコンソーシアムHPで申し込みも可)。定員に達しない場合は、引き続き募集します。

問同事務局☎042-703-8535、町田市生涯学習センター☎728-0071

消費生活センター

●くらしに役立つ料理教室　国産大豆で豆腐を作ろう!～おからも食べよう

対市内在住、在勤、在学の方 日10月16日㈭午前10時～正午 場町田市民フォーラム 講コンシューマー技術教育研究会・福岡ひとみ氏 定24人(申し込み順) 費300円 申1次受付＝9月15日正午～17日午後7時にイベシス コード250918Cへ／2次受付＝9月18日正午～10月12日にイベントダイヤル(☎724-5656)またはイベシスへ。保育希望者(1歳以上の未就学児、申し込み順に1人)は10月2日までに併せて申し込みを。

問消費生活センター☎725-8805

9月24日～30日は 結核・呼吸器感染症予防週間です

問保健予防課☎722-0626

厚生労働省は、毎年9月24日～30日の1週間を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、結核と呼吸器感染症(インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等)に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

結核は「過去の病気」だと思われる方も多いですが、毎年全国で1万人以上、東京都でも約1200人が新たに結核を発病しています。

結核の典型的な症状はせき、たん、微熱、倦怠(けんたい)感、食欲・体重減少などです。気付かないうちに進行してしまうことがあるため、定期的に(年に1回)健診を受診することが非常に大切です。また、気になる症状が出た時は、健診を待たずに医療機関を受診しましょう。

結核も呼吸器感染症も、予防対策の基本は、手洗いやマスクの着用を含むせきエチケット、そして日常的な健康管理です。感染を広げないために、せきやくしゃみをする時にはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆うこと、定期的な手指消毒や換気を心掛けましょう。結核についての詳細は、市HP(右記二次元コード)をご覧ください。

【市庁舎を結核予防のシンボルカラーであるレッドにライトアップします】

日9月24日㈬、26日㈮、午後7時～9時

期間 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動が始まります

問市民生活安全課☎724-4003、町田警察署☎722-0110、南大沢警察署☎042-653-0110

【運動の重点】

- 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・順守の徹底とヘルメットの着用促進
- 二輪車の交通事故防止

カワセミ通信 ― 219 ―

町田市長　石阪丈一

朝夕が少しだけしのぎやすくなりましたが、日中は依然として真夏日です。35度以上の猛暑日にはならなくなったものの、季節は文字どおりの夏日です。四季の国、日本は夏と冬の「二季」の国になりつつあります。

早朝6時過ぎに家を出て、秋草の気配を探して散歩しました。湿度も高く、なかなか秋を感じる草花も少なく、鳥の声もまばらでした。ただ、セミの声はツクツクボウシも含め盛大に鳴いていました。9月の上旬は、まだ夏でした。

さて、真夏の盛り、先月末に、東京都市長会の研修で、茨城県笠間市、笠間芸術の森公園(54.6ヘクタール)にあるスケートボード場「ムラサキパークかさま」を訪れました。名前は、いわゆるネーミングライツで、(株)ムラサキスポーツが一部負担して維持管理費の低減を図っているそうです。

施設の規模は比較的大きく、面積は観客スペースも含め、2.52ヘクタールで、BMXにも対応していて、国内最大級ということで、スケートボードの国際大会が開催できる水準になっています。見学の当日は暑い日で、スケートボード場は全面コンクリート造りですから、滑走面は相当の高温になっているようでしたが、それでも子どもたちは元気に滑っていました。

町田市でも、野津田公園スポーツの森の中にスケートパークを整備するために、実施設計中です。こちらのほうは、笠間市のように国際大会ができる水準ではありませんが、子どもたちが周囲に気兼ねなく存分に楽しめる施設として今後2か年で整備をしていきます。運営については、笠間市の例も一つの参考に検討していきます。

ムラサキパークかさま

みんなでつくる　未来の場(かたち)㊲

ぜひ親子でご参加ください! まちさんかいぎ(町田第三小学校跡地活用ワークショップ2025)を開催します

問企画政策課☎724-2103

2028年度に学校跡地となる町田第三小学校の跡地活用に向けたワークショップを開催します。どんなことができる場所になるといいか、子どもも大人も一緒に考えてみませんか。遊びやお茶の時間もあります。詳細は市HP(右記二次元コード)をご覧ください。

対町田第三小学校周辺にお住まいの方、町田第三小学校跡地で活動したい方等
※親子での参加も歓迎します。
日10月26日㈰午前10時～正午ごろ
場町田第三小学校体育館
定40人程度(申し込み順)
申10月10日午後5時までに市HPのアンケートフォームで申し込み。または電話、メールで企画政策課(✉mcity2980@city.machida.tokyo.jp)へ。